



利根中央病院だより

# きらめき



第68号  
2023年 夏号

発行責任者 利根中央病院 病院長  
編集責任者 利根中央病院 事務長  
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1  
TEL：0278-22-4321（代表）  
FAX：0278-22-4393  
URL：https://www.tonehoken.or.jp/

## 里帰り出産で地域の関係人口の増加を

利根中央病院産婦人科は、群馬県北部の中核病院として、①産婦人科全般の診療、②分娩取り扱い、③婦人科救急受け入れ体制の維持を目標としています。医療圏が、利根沼田・吾妻・渋川と3地域にまたがっているため、遠方からの患者様や妊婦様が多く、通院の負担をなるべく少なくするよう、各地域の診療所・病院と連携させていただいています。また、里帰り出産や二拠点生活者の受診を積極的に受け入れ、人口減少地域での関係人口の増加を目指しています。

年間分娩数は400件程度で推移しています。泌尿器科が2022年から常勤体制になり、当院で可能



産婦人科常勤医（2023年7月現在）  
後方左より、糸賀、鈴木、小松  
前方左より、鹿野、西出

産婦人科科長

すずき ようすけ  
鈴木 陽介



小松医師（左）から腹腔鏡手術の指導を受ける鹿野医師（右）

な婦人科手術の範囲が広がりました。2023年度は、腹腔鏡・子宮鏡手術の経験豊富な小松央憲（こまつひさのり）医師がチームに加わり、腔から内視鏡や鉗子を挿入する手術（経腔的内視鏡手術：vNOTES）や、メッシュを使用した骨盤底再建術（腹腔鏡下仙骨腔固定術：LSC）を導入予定です。

不妊治療は、人工授精までの一般不妊治療は当院で行い、体外受精等の生殖補助医療が必要な場合は紹介しています。子宮頸がん・体がん・卵巣がんなどの婦人科がんは診断、治療、治療後のケアいずれにも力を入れています。

いずれの分野も当院だけでは完結せず、丁寧に病状とニーズを評価したうえでの、適切なタイミング、適切な方法、適切な説明での紹介をこころがけております。至らぬ点や新たな連携の提案などございましたら御指導いただけますと幸いです。

## 神経内科の紹介

この度、神経内科外来を担当させていただくこととなりました、平柳と申します。

北毛地域は脳神経内科専門医が少なく、神経疾患の診断・治療のため遠方の医療機関まで通院してい

神経内科医師 ひらやなぎ 平柳 きみとし 公利



る患者様も多くいらっしゃるかと存じます。微力ではありますが、北毛地域での神経疾患のためにお困りの患者様の診療に携われれば幸いです。



診察室の様子

### 【地域連携室より】

当院の神経内科外来は、これまで月2回、第1・第3土曜日のみの診察となっており、外部からの新規患者受け入れを行うことが出来ませんでした。今年度より新たに毎週金曜日に増設することとなり、新規ご紹介患者さんの受け入れを行うことが出来るようになりました。

患者さんをご紹介いただく際はファックスによる事前の予約をお願いしています。地域連携室を通じ

て予約をおとりいたしますので、お手数おかけしますがご協力をお願いいたします。

つきましては下記の手順でご紹介ください。

- ①神経内科疾患患者の診察日・診療時間  
診 察 日：金曜日（毎週）  
診療時間：9：00～11：30
- ②必ず地域連携室を通してご紹介ください。
- ③紹介状は事前にファックスをお願いします。
- ④受診時にはご家族の同席をお願いいたします。

## 総合支援センター 地域連携室の紹介



地域連携室主任 かわべ ゆき 河邊 有紀

総合支援センターは地域連携室、入院センター、相談支援部門の3部門から成り立っています。

その中の地域連携室は2023年4月より新しいメンバーを加え、新体制となりました。より一層、地域の開業医の先生方との連携をスムーズに行うことが出来るように院内外の専門職との連携をとり、支援を行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

地域連携室では、FAXでの事前予約、地域の医療機関からの各種検査・栄養指導のダイレクト予約など、利根沼田を中心とした地域の先生方とともに、患者さんにとって最適な医療を提供できるように取り組んでいます。

また、沼田利根医師会の先生方とは、症例検討会や情報交換会などを通じて顔の見える関係づくりを行っています。毎年開催してきた沼田利根医師会・

利根中央病院情報交換会は新型コロナウイルス感染症の影響で数年は開催を見送りましたが、今年度は10月に4年ぶりの開催を予定しています。

今後も地域の先生方と連携を密にし、病院と地域の皆様を「つなぐ役割」として丁寧な地域連携を構築していけるよう心がけてまいりますのでご指導、ご協力の程よろしくお願いいたします。

地域連携室



相談支援部門



入院センター

## 学会会場で似顔絵セラピーが大盛況

5月13日（土）～14日（日）に、第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会がポートメッセなごやにて開催され、総合診療科の医師を中心に参加しました。

「プライマリ・ケアのニューノーマル ～プライマリ・ケアの卓越性と次世代医療との融合～」と題して、アート、産業技術、街づくり、医学に捉われない



学問との融合といった様々な切り口での展示がされていました。

また当院からは似顔絵アートセラピーチームが「医療とアートの学校」に出展し、ブースに来場された方

の似顔絵を書きながらセラピーの効果や活動内容についてのアピールを行いました。医療従事者による似顔



絵セラピーは全国初の取り組みとして、多くの注目を集めていました。



## きらめき トピックス

### 新人研修に参加して

4月12日（水）に、看護師と研修医を対象とした新人研修が開催されました。

私はこれまで患者さんの立場から率直な思いを聞くことは、経験したことがありませんでした。この研修では、組合員さんに患者さん役になってもらい入院時の情報収集やコミュニケーションを行い、その時感じたことを共有させていただきました。

組合員さんとの関わりの中で、自分自身の足りない部分や良かったところを知ることができました。印象に残っているのは、挨拶や表情は自分が思うより患者さんに強い印象を与えることがわかりました。最初は緊張しましたが、優しい雰囲気を受け入れてくださり、交流を通しもっと多くのことを学びたいと感じました。

これから患者さんとの関わりの中で、挨拶や笑顔を忘れずいい印象を伝えられるよう励みたいと思います。

手術室看護師

のぶさわ 信澤  
ゆな 唯菜

